北京日本語学習者縦断コーパス（B-JAS）の公開

石黒圭、須賀和香子、鈴木靖代

1．北京日本語学習者縦断コーパス（B-JAS）構築の背景

日本語学習者の大規模発話コーパス
「多言語母語の日本語学習者横断コーパス：I-JAS」
17か国の日本語学習者1000人の横断データ

さまざまな母語の学習者の比較ができるが、
学習者の言語習得過程の実態がわからない

日本語学習者の縦断データを
収集する必要性あり

2014年
学術交流合意書を締結

国立国語研究所
北京外国語大学 北京日本語学研究センター
北京師範大学 外国語言文学学院

2016年
3機関合同でデータ収集開始

2．北京日本語学習者縦断コーパス
（Beijing corpus of Japanese as a Second Language : B-JAS）

中国語母語日本語学習者17名の
4年間の縦断データ

- 対象者　中国語母語の日本語学習者（大学生　日本語主専攻）
- 入学時の日本語力　学習歴無し 16名　学習歴1年 1名
- 調査期間における留学経験　交換留学（半年～1年）16名　インターン（2か月）1名

＊いずれも3年次

2種類の日本語能力テスト
（J-CAT・SPOT）を毎年実施

➡ 学年ごとの日本語レベルが把握できる
➡ I-JASと同じテストを実施しているので、
I-JASとの比較が可能

表１　J-CAT･SPOTの点数の推移（点）

	1年次	2年次	3年次*1	4年次
J-CAT	134	192	225	263
SPOT	60	72	75	81
日本語レベル *2JLPT互換	初級 N5相当	初級後半 N4相当	中級前半 N3相当	中級 N2相当

*1日本留学中に実施
*2J-CATの点数から判断

Ｉ-ＪＡＳに準拠した
多種多様なタスク

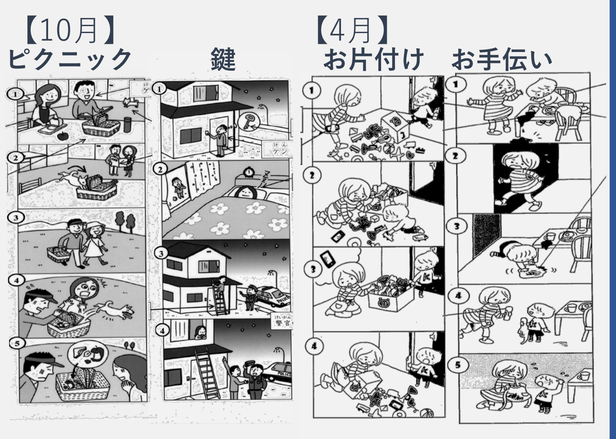
- 調査　年に2回（10月・4月*）に国語研スタッフが現地に赴き対面で実施
- 実施タスク　各タスクとも、10月実施用・４月実施用の2つの内容を用意し毎年行う

➡学年ごとのデータを比べることが可能

ストーリーテリング ストーリーライティング

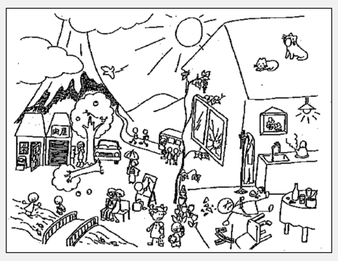
４・５コマの漫画のストーリを話す／書く

【10月】ピクニック　鍵
【4月】お片付け　お手伝い



絵描写

イラストを見て、そのイラスト内容を描写する



山があります。
人が倒れています。
絵を描いています。

ロールプレイ

場面を設定し、与えられた役柄を
場面に沿った状況で演じる

【10月】
①依頼
アルバイトの日数を3日から2日に減らしてほしいと店長に依頼する
②断り
アルバイト先で接客から調理に変更してほしいと店長に頼まれるが断る

【4月】
①依頼
推薦状の作成を恩師の大学の先生に依頼する
②断り
北京の観光案内を恩師から頼まれるが、それを断る

対話

1対1で、約15の話題について
自然な流れで会話を行う（30分ほど）

【10・4月共通話題】
・日本に関する関心事
・出身地についての話
・子供の頃の話
・将来の夢や仕事について　など

【10月】
・都会／田舎どちらに住みたいか
・お金と時間とどちらが大事か

【4月】
・将来の仕事について
・将来の子供の教育について

対面調査・作文調査を
行っている

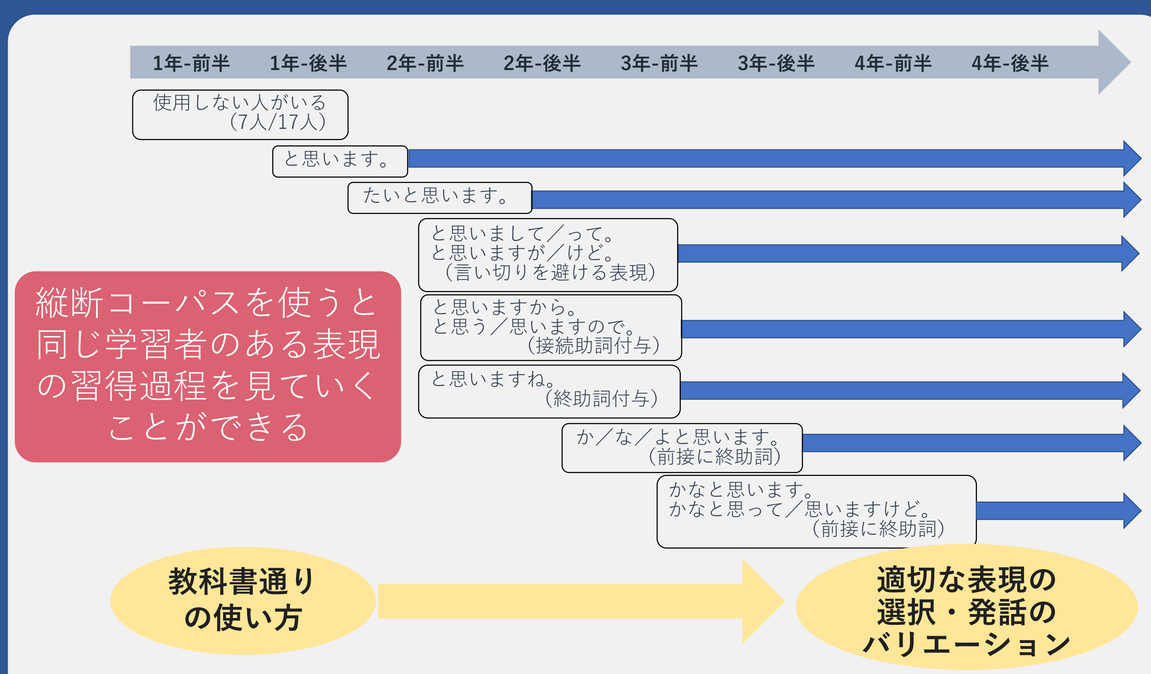
➡ 口頭産出力・文章産出力の
両方を見ることができる

作文

テーマと文字数を設定し、書いてもらう
1年に4回（初年度は3回）
オンラインにて実施

	作文テーマ
1年次	私の１日―朝起きてから夜寝るまで（200字） 私のもらって嬉しかった贈り物（300字） 私の好きな食べ物（400字）
2年次	私の休日の過ごし方（500字） 私の癖（600字） 私の今一番ほしいもの（700字） 私の思い出の旅行（800字）
3年次	私の得意料理の作り方（900字） 私の好きな日本の言葉（1000字） 私の苦手な生き物（1100字） 私の将来の夢（1200字）
4年次	私のふるさとの四季（1300字） 私の日本人観（1400字） 私の好きな有名人（1500字） 私の趣味の変遷（1600字）

3．研究事例　「と思う」の習得過程



布施悠子・鈴木靖代（2021）「対話場面における中国人日本語学習者の「と思う」の習得過程の一考察：『北京日本語学習者縦断コーパス（B-JAS）』のデータから」，『国立国語研究所論集』20，国立国語研究所，pp95-113

4．公開予定

2022年度中
・対話調査の文字化データ
・作文調査のテキストデータの公開

2023年度中
・中納言でB-JASデータを公開

現在公開に向けて整備中!

本研究は国立国語研究所機関拠点型基幹研究 プロジェクト「日本語学習者の談話の縦断コーパス研究」の研究成果の一部である